



がんセンター開設

がんセンター センター長 辻 晃仁

がんは国民の二人に一人が生涯に一度は患う病であり、働く世代の病気でもあります。香川大学医学部附属病院では平成19年4月1日に腫瘍センターを設立し、がんの集学的治療（手術・抗がん剤・放射線治療など）の実施、地域の医療機関との連携、がん予防・診療についての教育活動、緩和ケアの推進などを積極的に行ってきました。

一方で、近年がん診療においては、分子標的治療薬の進化、がん免疫療法の登場、ゲノム解析によるがん個別化医療など新時代を迎えつつあります。これらの変革に対応するため、平成30年1月「香川大学医学部附属病院がんセンター」を立ち上げ、県内のがん診療にさらに貢献できるよう新体制を整えました。

がんセンターは、がん検診・診断部門、ゲノム診療部門、がん放射線治療部門、がん緩和医療部門、がん化学療法部門など12部門で構成されており、手術、放射線、化学療法、緩和医療の専門医によるカンサーボードを行うことで、最適な治療方針を患者さんに提示することが可能です。また、がん検診をはじめ、稀少疾患の治療や未承認薬による治験・臨床試験、ゲノム解析に基づく個別化医療などの体制も整備しました。さらに、各種がん相談やセカンドオピニオン、治療成績の公表やがん医療情報の発信も行っています。教育面では、中国四国地域の医療機関との連携の中心となり、がん専門医や専門看護師、物理士、薬剤師など医療スタッフの育成を行っております。

今後、患者さんから信頼されるがんセンターであることを目指し、世界最高の医療を提供することで患者さんの役に立つべく全力で取り組んでゆきます。

皆様方のあたたかいご支援とご助言を心よりお願い申し上げます。

外来医長会議 議長就任挨拶

形成外科 助教 濱本 有祐



2017年12月より外来医長会議議長を拝命致しました、形成外科の濱本有祐です。2015年12月まで同議長を務めさせていただき、今回2回目となります。私は形成外科の中でも小耳症等の耳介再建、頭頸部悪性腫瘍等の再建外科を専門としてきました。あまり馴染みの無い診療科かもしれませんが、形成外科、特に再建外科は各科の境界領域ばかりを扱っており、各科・関連職種の方との協力・連携が必須です。院内・病院間でも「協力」を期待されて2度目の指名を頂いたと考えています。

香川大学病院は2016年11月から外来再開発を行っており、2019年3月に全ての工事が終了します。改修に伴う移転等により患者様にご迷惑をおかけしていますが、より利用しやすい病院を目指して日々改善しています。2018年1月にも電子カルテシステムが全面改訂されました。患者様が気付かれる部分では、外来患者呼び出しが、氏名の放送から番号掲示に変わっています。慣れない間は戸惑われることもあるかもしれませんが、プライバシーが守られるだけでなく実質的な待ち時間の短縮にもつながります。お困りの点がありましたら、患者サービス係までお知らせ頂ければ幸いです。サービスの改善につなげていきたいと思っております。

クリニック、病院の皆様にも紹介して頂き易いよう、各科HPの情報更新、地域連携紹介枠の拡大、がん・消化器・循環器・脳卒中ホットラインの新設など行っています。診療科によっては関東や九州など遠方からの患者も増えています。将来的には県内、全国の電子カルテはクラウド化され、統合させると思いますが、香川県で進められている診療連携システムのK-MIX+もクラウド化を視野に入れ発展していくと考えています。今後もより良い地域医療の発展に努めてまいります。よろしくお願い致します。

平成30年度より、日本専門医機構のもと新専門医制度が開始されます。学会認定による従来の制度を見直し、国民に信頼される専門医養成を目的としています。新制度では、大学病院等（基幹施設）が専門研修プログラムを整備し、標準的な医療を提供できる質の高い専門医を地域の病院（連携施設）と協力して養成します。今後は初期研修後、3～4年間の専門研修プログラムへと進み、専門医を目指します。

今年度は全19の基本領域専門研修プログラムがスタートします。当院は17領域を整備しており、県内44施設、県外32施設という多くの病院と連携しています。今年度は、39名が専門研修を開始します。香川県に複数のプログラムがあるのは6領域のみであり、当院は本県の専門医養成に大きな役割を担っています。医師キャリア支援センターでは、専門研修に関する広報活動や各診療科のサポートに努め、専門医を目指す医師の確保に尽力します。

基本領域専門医（19領域）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|-------------|------------------|-------------|-------------|--------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|--------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|
| 内 科 | 外 科 | 小 児 科 | 産 婦 人 科 | 精 神 科 | 皮 膚 科 | 眼 科 | 整 形 外 科 | 耳 鼻 咽 喉 科 | 泌 尿 器 科 | 脳 神 経 外 科 | 放 射 線 科 | 麻 酔 科 | 病 理 | 臨 床 検 査 | 救 急 科 | 形 成 外 科 | リ ハ ビ リ | 総 合 診 療 |
|--------|--------|-------------|------------------|-------------|-------------|--------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|--------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|

前立腺がんの正しい治療とは？

香川大学 泌尿器・副腎・腎移植外科 准教授 杉元 幹史

最近PSAという前立腺の血液検査が一般的に行われるようになってきました。そのおかげで転移のない、いわゆる早期の前立腺がんが多く発見されるようになってきました。

あなたは検診で、PSAの値が高いといわれました。そして専門医で精密検査を行ったところ、前立腺がんと診断されました。さあ、どうしますか？

癌だから1日でも早く手術をして貰うのが一番いいのでしょうか？

ちょっと待ってください。一口に前立腺がんといってもいろいろあります。急いで手術をしなくてもいい場合や、むしろ手術ではなく放射線治療の方がより治りやすいことも多いのです。さらにがんの種類によっては、すぐに治療を開始しなくてもよい場合も少なくないのです。

以下、いくつかの治療選択肢についてごく簡単に説明させていただきます。

- 1.手術療法（前立腺全摘除術）**:おなかを切る方法と腹腔鏡やロボット手術で行う方法があります。手術の副作用として、尿漏れや性機能障害などがあります。また、たとえ手術を行ってもすべての人が完全に治るわけではないことに注意が必要です。
 - 2.放射線治療**:これには体外から照射する外照射療法と、体内にマイクロカプセルを埋め込む内照射療法があります。それぞれ癌の状態によって使い分けます。
- 以上の1と2がいわゆる「根治療法」といわれるものです。**
- 3.監視療法**:ある種のおとなしく、癌の量が少ないタイプの前立腺がんはほとんど命に関わらないことがわかっています。そのような前立腺がんに対して、当面すぐには手術や放射線治療などの根治療法を行わず血液検査などで様子を見る方法が監視療法です。経過中にがんが悪化する傾向が見られたときには、すみやかに1や2の根治療法に切り替えます。
 - 4.ホルモン療法**:男性ホルモンを抑える方法です。これは通常、1-6ヶ月ごとに注射を行います。ただ、この方法では癌は治りません。通常は数年くらいでホルモンが効かなくなってきました。また、ほてりや認知障害、骨粗鬆症、肥満、糖尿病、貧血、鬱症状などの非常に深刻な副作用も出てくるのがわかっていますので、十分な注意が必要です。

今回は紙面の都合上、それぞれ十分な説明はできないことをご了承下さい。我々は前立腺がん治療のプロですので、安心してお任せいただければと思います。

毎日新聞 「四国健康ナビ」H29.9.5掲載

月経痛(生理痛)は、誰しも一度は経験したことのあるような、よくある痛みです。しかし、そのために学校や仕事を休む、月経以外の時にも痛みがある、痛み止めが効かないようであれば子宮内膜症である可能性があります。子宮内膜症は、疼痛、不妊症、癌化と女性の生涯に関わる病気です。子宮内膜症について知っていただき、うまく付き合っていく方法をご紹介します。

月経痛の程度は個人差があり、感じ方の違いあり評価は難しいですが、学校や仕事に支障が出るような状況は**月経困難症**と考えられます。月経困難症は初経後2～3年より始まり、器質的疾患を伴わない**機能性月経困難症**と、子宮内膜症・子宮腺筋症・子宮筋腫などの器質的疾患に伴う**器質性月経困難症**があります。

子宮内膜組織に似た組織が子宮内腔または子宮筋層以外の部位で発生するものを**子宮内膜症**と言います。起こりやすい部位は卵巣で、卵巣内に溜まった古い血液がチョコレート色をしていることから**チョコレート嚢胞**とも呼ばれます。(図1)原因ははっきり分かっていませんが、出産回数が減少し、排卵・月経回数が増えたことで、発症しやすくなったと考えられています。(図2)

***卵巣がんのリスクが増加**

子宮内膜症は良性の病気ですが、チョコレート嚢胞から**卵巣がん**が発生する頻度は約0.7%で、嚢胞がない人と比べて卵巣がんになる可能性が高くなると言われています。

***子宮内膜症を疑うサイン**

月経痛がひどくなってきた、痛み止めの量が増えてきた、痛み止めが効かない、月経時以外の痛みがある、性交痛・排便時の痛み、なかなか妊娠しない場合は、子宮内膜症の可能性あります。

***治療方法**

患者さんの困っていることやライフステージに応じて治療方法が異なります。

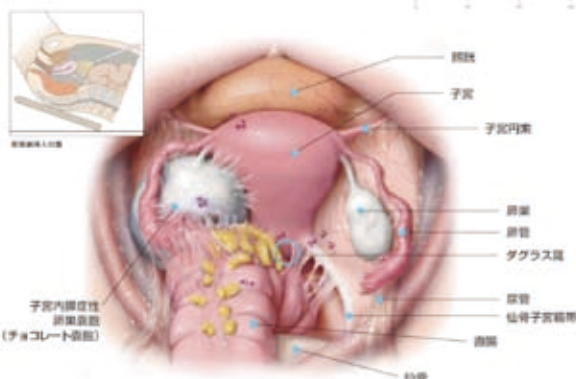
1.手術療法

- 1) 保存手術:薬での治療が無効、不妊症を伴う場合に子宮内膜症病巣の焼灼・チョコレート嚢胞摘除術・癒着剥離術など。
- 2) 根治手術:子宮、両側付属器(卵巣・卵管)摘除術。

2.薬物療法(ホルモン療法)

- 1) 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合剤(低用量ピル):排卵の抑制を行う、血栓症の副作用がある。
- 2) ジエノゲスト:長期間使用可能だが、不正出血の副作用がある。
- 3) GnRHアゴニスト(偽閉経療法):効果があるが、更年期症状・骨密度低下などの副作用があり、6ヶ月が上限である。

チョコレート嚢胞核出術後に薬物療法をしない場合は、約30%が再発するとされています。その為、手術後も薬物療法をすることで再発しないように、うまく付き合っていく必要があります。



(図1)



(図2)

*図1・2は、「日本子宮内膜症啓発会議 子宮内膜症 Fact Note」より引用

※第19回イキイキさぬき健康塾(平成28年11月20日開催)の講演内容を要約したものです。

ブルネイ・ダルサラーム大学医学部生が来校

企画調査係国際交流担当

平成29年12月4日～23日の間、ブルネイ・ダルサラーム大学の医学部生8名が香川大学に交換留学生として来校しました。

ブルネイ・ダルサラーム大学とは2006年より学術協定を結んでおり、お互いに交換留学を行っております。香川大学では、毎年冬季に学生を10名ほど受入れ、香川大学や病院での授業、希少糖の施設見学、ホームステイなどを経験してもらっています。その授業の一環で病院での実習を行い、病院関係者のカンファレンスの参加や、実際に病室をまわり回診の様子などを見学しました。実習中、先生方から適宜補足説明を受け、逆に分からないことを質問するなど真剣に取り組む様子が見られ、留学生には貴重な経験になったと思います。

関係者各位のご協力に心から感謝申し上げます。



臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長 医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H30.4～5月 予定表

| 月日 | 時間 | 場所 | 名称及び内容 | 担当 | 連絡先 |
|--------|-------------|--------------|--|-----|---------------|
| 4/8 日 | 11:00～12:00 | 丸亀町レッツホール | イキイキサメキ健康塾-香川大学病院と最新医療-「卵巣がんの診療と最近の話題」 | 総務課 | (087)891-2008 |
| 4/20 金 | 17:00～19:00 | JRホテルクレメント高松 | 第62回 日本皮膚科学会香川地方会 | 皮膚科 | (087)891-2162 |
| 5/13 日 | 11:00～12:00 | 丸亀町レッツホール | イキイキサメキ健康塾-香川大学病院と最新医療-「糖尿病の眼合併症」 | 総務課 | (087)891-2008 |

イキイキサメキ健康塾

香川大学医学部附属病院 医療セミナー

高松市内で定期的に開催している医療セミナー「イキイキサメキ健康塾」がケーブルメディア四国のコミュニティチャンネルで放送中です。実際にセミナーにご参加いただいた方の振り返りに、セミナー当日に参加できなかった方に、医療セミナーに興味のある方に、皆様ぜひご覧ください。

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、小野(総務)、日下(副病院長)、笹川(放射線)、田川(管理)、田中(看護)、濱本(外来)、藤原(病棟)、芳地(薬剤)、横井(情報)、横山(経営)、吉野(医事) [委員長 横見瀬病院長]